

これまでの社会教育は、行政主導で進められ、サービスが市民に広く行き渡らないものもありました。

しかし、今日の成熟社会では、市民が課題解決や自己実現のために主体的に学び、活動し、さらには、そこで得た成果を地域に還元したり、次の世代に伝えたりするなど、貢献していくことが望まれます。

したがって、このような小平市の「新たな生涯学習・生涯スポーツのかたち」を実現し、市民自身が小平市を支え、将来の小平市を育てていることを誇りに思える教育をめざします。

目標 市民が支える新たな生涯学習を実現し、次世代に引き継ぎます

3

貢献 市民が小平を育てる

- 市民・事業者・団体・行政のそれぞれが長所や個性を発揮し、連携する
- 市民の郷土愛と次代を担う後継者を育てる

目標値

- (学習活動の成果を)「ボランティアや地域の活動に生かしている」「他の人の学習や文化活動などの指導に生かしている」を増やす
- 「運動していない」を減らす

アンケート調査結果(平成28年11月実施)から



重点プロジェクト 3 新たな教育のかたちを創造する

学校施設を核とした公共施設マネジメントの推進

施設の老朽化、将来的な少子化、財政の硬直化などの視点から、学校施設の整備においても選択と集中が必要であり、市の公共施設マネジメントに基づいた取組を進めていきます。

目標耐用年数の到来が近づいている学校施設について、関係部局との連携を図り、更新等の適否の判断を行います。また、その際には、将来を見据えた望ましい教育環境の整備をめざすとともに、他の公共施設との複合化等を検討します。

公民館の新たな役割と取組

公民館を学習施設としてだけでなく、市民との協働の拠点、地域のコミュニティづくりの拠点として機能させるため、市民が事業の企画に参画する「公民館事業企画委員会」を設置し、公民館の役割を明確にするとともに、「市民が教え、市民が学ぶ」をコンセプトに地域と連携した講座を実施するなど、成熟社会における生涯学習の新たな展開を図ります。

図書館の機能強化

地域の情報拠点として、地域の課題を解決するための資料や情報の充実を図るとともに、デジタル化の促進によるインターネットを活用した資料提供、さらにレファレンスサービスを充実させることにより、利用者が求めている資料・情報を的確に提供するための取組を進めます。

多様な主体との連携による生涯スポーツの推進

市民や行政だけでなく、地域の団体、スポーツの関係団体、学校、民間事業者などと連携し、市民のライフステージを通じて、だれもがそれぞれの体力、技術、生活環境の違いに応じたスポーツの機会の充実に取り組み、運動習慣の定着を図ります。

また、東京2020大会に向けて、関連イベント等を開催し、スポーツへの興味・関心の向上など気運の醸成を図り、多くの市民がスポーツに関わる機会の創出に取り組みます。

地域の文化資源の魅力発信

鈴木遺跡の国指定史跡化を進めるとともに、平櫛田中彫刻美術館などの貴重な文化資源の魅力を発信することにより、より多くの市民が関心をもってもらえるよう取組を進めます。

基本理念

はぐくみ・支え合い 学びでつながる 小平の人・まち・未来

目 標

将来の社会を支える
すべての子どもの
「生きる力」をはぐくみます

自立 小平で基礎を培う

学校・家庭・地域が
互いを育て合い、
子どもを支えます

共生 小平で共に成長する

市民が支える新たな
生涯学習を実現し、
次世代に引き継ぎます

貢献 市民が小平を育てる

施策展開の視点

連 携

それぞれが役割を果たし、
協力し合う

個を生かす

それぞれの長所を生かす
個に応じた支援を行う

全体像

基本的施策

個別計画等の取組

重点プロジェクト

- 1 確かな学力の向上
- 2 健やかな体の育成
- 3 豊かな心の育成
- 4 自立心の養成
- 5 共生と地域・社会貢献意識の醸成
- 6 教員の資質向上
- 7 学校の経営力向上
- 8 家庭教育への支援
- 9 地域教育の充実
- 10 教育環境の整備
- 11 生涯学習の推進
- 12 図書館の充実
- 13 生涯スポーツの推進
- 14 郷土愛と後継者の育成
- 15 多様な主体との連携と施設のあり方の検討

小・中
連携
教育

特別
支援
教育

特別支援教育総合推進計画
こだいらの小・中連携教育

プロジェクト 1
すべての子どもの
生きる力を強化する

プロジェクト 2
学校・教員・家庭・
地域が高め合う

プロジェクト 3
新たな教育の
かたちを創造する

計画の基本的なことから

対象期間 ～いつからいつまで～

平成25年度(2013年度)から平成34年度(2022年度)までの10年間です。
なお、改訂版の対象期間は、平成30年度(2018年度)から平成34年度(2022年度)です。

対象範囲 ～どこからどこまで～

子ども(学校教育)だけでなく大人(生涯学習・スポーツ)も対象としています。

推 進 ～だれがどのように～

教育委員会と学校が一丸となって取り組むとともに、市内の保育園や幼稚園、高校、大学、教育に関わる市民や事業者、団体等との連携・協働によって進めます。

進行管理 ～どこまで進んだか～

法令に基づく「教育委員会事務の点検及び評価」により、計画に掲げた主な施策の進捗と目標の達成状況について、教育委員会自身と有識者による点検を行い、その結果を市民に公表します。

見直し ～目標を達成したら・しなかったら～

計画の策定時に各項目において10ポイント改善の数値目標を掲げてきましたが、目標の達成状況の確認及びこれまでの取組の検証から、平成28年度(2016年度)に行った「小平市の教育に関するアンケート調査」の結果を基準値として設定し、そこから5ポイントの改善を目指します。

計画期間中間での改訂

アンケート調査

平成28年(2016年)10月に「小平市の教育に関するアンケート調査」を実施し、市立学校に通う児童・生徒(小学校3年生・6年生、中学校1年生・3年生)とその保護者、全教員、市内の保育園・幼稚園に通う5歳児童の保護者、18歳以上の市民の教育の実態や考えをうかがい、計画改訂の基礎資料としました。(アンケート調査結果報告書を別途作成しています。)

部間連携会議

教育委員会事務局と関係部で構成される部間連携会議を開催し、計画の見直しを行いました。
また、教育委員会委員及び小平市立小・中学校長に意見をいただきました。

市民意見の反映

平成30年(2018年)1月～2月に改訂版計画に対するパブリックコメントを実施して、市民から意見を伺いました。

改訂版 **小平市教育振興基本計画** 〈概要版〉
平成30年2月

編集・発行 小平市教育委員会 教育部教育総務課
〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地
TEL.042-346-9568 FAX.042-346-9578
電子メール kyoikusomu@city.kodaira.lg.jp